



京都市社会教育委員のコラム

まなびいのつぼ

第2回



井上 満郎 議長
プロフィール

専攻は日本古代史。著書に『平安京の風景』（文英堂）、『桓武天皇』（ミネルヴァ書房）など多数。平成13年1月から京都市社会教育委員、平成17年7月から議長を務めるほか、京都市生涯学習市民フォーラム副会長、財団法人京都市埋蔵文化財研究所長・理事長、京都市文化財保護審議会会長などに在任中。

京のまちを歩く

私は京のまちのそこそこを歩くのが大好きだ。どこかへ行くときもわざとジグザグに、それも狭い路地を選んで歩く。時には袋小路に迷いこんで困ることもありはするのだが。

なぜそうするのか。確たる理由といったほどのものはないが、そこに人びとの暮らしの営み、文化の姿が見えてくるからだ。

むろん狭い街角には立派な寺院もなければ神社もない。だけれども地道に着実に、人知れず時代を刻んできた、庶民たちの豊かな歴史の姿がそこにはある。

地蔵が辻々にあるのは京都のまちの大きな特徴

京都市社会教育委員会 議長

井上 満郎 氏

(京都市歴史資料館長・京都産業大学名誉教授)

だし、そして夏の終わるころ、そこで地蔵盆が催されて子どもたちが寄り集まるのは、心にしみる懐かしい風景であろう。

そしてそれらの地蔵のほとんどすべては、国宝や重要文化財といったレベルではなんという価値を持たない。多くは江戸時代につくられた、ごくシンプルな石像である。だけれどもそこに生まれ暮らす人びとにとっては、朝夕にお花やお水をあげ、手をあわせる、暮らしと密着した大切な文化的存在なのだ。

有名な場所もむろんいい。しかし京都に生まれ育った私には、まちなかも観光地なのであり、そこを歩くことは大切な“観光文化”なのである。

委員からの
メッセージ



史林逍遙 楽而不淫
史林逍遙 楽しみて淫せず

※右上から縦に
「史林逍遙 楽而不淫」
(史林逍遙 楽しみて淫せず)

ご存知
ですか？

京都市生涯学習
市民フォーラムとは…



市民のもつ活力と英知を結集し、市民感覚に根差した市民ぐるみの生涯学習まちづくりを推進するため、市内の生涯学習関係団体（平成24年9月現在 188団体）からなるネットワーク組織として平成6年1月に設置されたもので、京都市生涯学習行政推進会議（議長：市長）と連携して、様々な取組を行っています。その一つとして、年1回の総会に合わせて、一般市民の参加の下で京都のまちの魅力について共に考えるシンポジウム等を開催しています。

今回のテーマは「おもてなしの心」。

京都市生涯学習市民フォーラム 検索

京都市生涯学習市民フォーラム シンポジウム 申込用紙

日時 平成24年 12月7日(金) 会場 京都産業会館 8階シルクホール
午後2時～4時(午後1時30分開場) 下京区四条通室町東入

※電話・電子メールでもお申込みいただけます。

FAX専用

ふりがな			電話番号 ()
お名前			
ご住所 (代表者のみ)	〒 —		
同伴者の お名前 及び ご住所 (代表者と 同じ場合は 記入不要)	〒	—	
	〒	—	
	〒	—	
託児・手話通訳をご希望の方は ✓印をお付けください。 ☐ 託児希望あり(託児を希望されるお子様の年齢と人数 → 歳・人) ☐ 手話通訳希望あり			



FAX 075-661-5855

申込期間 11月1日(木)～11月30日(金) 必着